

おい図書館

No 120

発行 おい図書館
代表 青木和子
松本市牧の原1-104-416
TEL 047-311-0886

バスラの図書館と

わたしたち

吉原里絵

(会報119号で紹介した絵本

「バスラの図書館員」について、

あらためて考えてみました。)

バスラ(イラク)の戦火から図書館の本を守った女性司書マリアさんが守ったのは、三万冊の本だけではありません。

私たちが自分の生きていく日々すべてを導しとれないのと同様に、本には世界でこれまでに起こったすべてが書かれているわけではありません。

世界の限られた一部である本が

並べられた図書館に行けば、一部がいかにか膨大であるかを見る事ができます。そして、書かれていない世界がいかにか豊かに広がっているかを感じる事ができます。

バスラのマリアさんたちは、その世界の過去を守り、これから先の人たちの図書館との出会いも守ったのです。

こう感じるのは、この本との出会いだけではなく、この本の訳者である長田弘さんの次の作品に触れたことも影響しています。

『世界は一冊の本』
本を読む。

もつと本を読む。
もつともつと本を読む。

書かれた文字だけが本ではない。
日の光り、星の輝き、鳥の声、
川の音だつて、本なのだ。

ブナの林の静けさも、
ハナミズキの白い花々も、
おおきな孤独なケヤキの木も、本だ。

本でないものはない。

世界というのは開かれた本で、
その本は見えない言葉で書かれている。

ウルムチ、メッシナ、トンブクトウ、
地図のうえの一点でしかない、
遙かな国々の遙かな街々も、本だ。

そこに住む人びとの本が、街だ。
自由な雑踏が、本だ。

夜の窓の明かりの一つが、本だ。
シカゴの先物市場の数字も、本だ。

ネブド砂漠の砂あらしも、本だ。
マヤの雨の神の閉じた二つの眼も、本だ。

本は読む。

人生という本を、人は胸に抱いている。一個の人間は一冊の本なのだ。

記憶をなくした老人の表情も、本だ。草原、雲、そして風。

黙って死んでゆくガゼルもヌーも、本だ。権威を持たない尊厳が、すべてだ。

二〇〇億光年のながの小さな星。

どんなことでもない、生きるとは、考えることができる、ということだ。

本を詠もう。

もつと本を詠もう。

もつともつと本を詠もう。

本文中の「もし本が無事だとかつたら、戦争というけたものは、さつとまた、町にもどってきます」これは、戦争が物理的に人や街を破壊するだけでなく、私たちや私たちの先人がいなくなつたかのようににしてしまうのだと伝えてくれます。

マリアさんたちは今、無事であるのでしようか。



講演会

「学校図書館の

すばらしい可能性を拓く」

報告 青木和子

4月25日(木)、柏市中央公民館

で、山形県鶴岡市朝陽第一小学校図書館司書五十嵐絹子さんのお話を聴きました。主催は柏市

学校図書館研修会。柏市立図書館・柏市教育委員会共催でした。

学校司書として今年3月までの40年間の実践を、ビデオ上映

もまじえて話されました。

はじめはこの学校にもある「倉庫のような、素通りされる

図書館」だった所が、「人のぬくもりと暖かさのある魅力的な

図書館」へと変貌する過程は、五十嵐さんの情熱が周囲の目を開かせ「その氣」にさせていく実践過程そのものでした。

五十嵐さんの根っこにはご自身の体験から「本は子どもに生きる力を与えてくれる」「本を詠む子は必ず伸びる」という強い信念があります。そして、学校司書を続けて来られた今、「こんなに面白い仕事はない」と言い切っておられます。

このように「人」を得た学校には、学級崩壊や不登校は無い、結果として学力を押し上げているこのことです。

平成19年度

予算審査特別委員会傍聴

報告 青木和子

松戸市議会3月定例会中、14、15、19、20の4日にわたって予算委員会

水ることこつと。注目してしまつて。

新計画は9月9日定例市議会に上程して。

H. 20年度は24年度(準備)の年です。

最近年度(第三年度)あり、第三年度(第二年度)あり。

二年度(第一年度)あり、H. 15年度(第一年度)あり。

今年度は松本市長期計画第一年度。

X ————— X

配に専任司書を見校図書に。

見校図書に専任司書を見校図書に。

見校図書に専任司書を見校図書に。

見校図書に専任司書を見校図書に。

見校図書に専任司書を見校図書に。

見校図書に専任司書を見校図書に。

見校図書に専任司書を見校図書に。

見校図書に専任司書を見校図書に。

見校図書に専任司書を見校図書に。

見校図書に専任司書を見校図書に。

見校図書に専任司書を見校図書に。

見校図書に専任司書を見校図書に。

見校図書に専任司書を見校図書に。

見校図書に専任司書を見校図書に。

見校図書に専任司書を見校図書に。

見校図書に専任司書を見校図書に。

有り、と考へる。

問題は、校のあり、と考へる。

問題は、校のあり、と考へる。

問題は、校のあり、と考へる。

問題は、校のあり、と考へる。

問題は、校のあり、と考へる。

問題は、校のあり、と考へる。

問題は、校のあり、と考へる。

問題は、校のあり、と考へる。

問題は、校のあり、と考へる。

問題は、校のあり、と考へる。

問題は、校のあり、と考へる。

問題は、校のあり、と考へる。

問題は、校のあり、と考へる。

問題は、校のあり、と考へる。

問題は、校のあり、と考へる。

問題は、校のあり、と考へる。

問題は、校のあり、と考へる。

問題は、校のあり、と考へる。

問題は、校のあり、と考へる。

問題は、校のあり、と考へる。

問題は、校のあり、と考へる。

問題は、校のあり、と考へる。

教育相談員へ入つて。

特別支援学校へ入つて。

特別支援学校へ入つて。

特別支援学校へ入つて。

特別支援学校へ入つて。

特別支援学校へ入つて。

特別支援学校へ入つて。

特別支援学校へ入つて。

特別支援学校へ入つて。

特別支援学校へ入つて。

特別支援学校へ入つて。

特別支援学校へ入つて。

特別支援学校へ入つて。

特別支援学校へ入つて。

特別支援学校へ入つて。

特別支援学校へ入つて。

特別支援学校へ入つて。

特別支援学校へ入つて。

特別支援学校へ入つて。

特別支援学校へ入つて。

特別支援学校へ入つて。

特別支援学校へ入つて。

特別支援学校へ入つて。

松戸市 平成19年度 教育関係予算

(千円)

	本年度	前年度	比較
教育費	12,928,044	12,343,479	584,565
教育総務費	2,229,888	2,088,765	141,123
小学校費	1,948,634	2,093,892	△145,258
中学校費	1,766,067	1,164,987	△601,080
高等学校費	798,641	790,819	7,822
幼稚園費	745,404	732,379	13,025
社会教育費	2,452,989	2,504,658	△51,669
保健体育費	2,986,421	2,967,979	18,442
図書館費	296,498	303,127	△6,629
図書館管理運営事業	241,211	242,331	△1,120
図書等購入費	67,168	67,143	25
貸出等管理業務	16,860	17,224	△364
受付業務	92,454	90,518	1,936
施設維持貸出業務	20,361	24,141	△3,780
身体障害者図書管理業務	1,619	463	1,156
講座等行事開催業務	287	342	△55
広報業務	56	69	△13
情報化推進業務	42,406	42,431	△25
幼児・児童の読書普及事業	55,287	60,796	△5,509
おはつしキャラバン事業委託業務	54,011	59,471	△5,460
読書普及活動業務	1,022	978	44
おはつしフェスティバル補助金	254	267	△13
松戸子どもの本ネットワーク	0	80	△80

